

1 防災面からみた大町市の概要

資料 1 被害年表

1 過去において市域に大きな被害を与えた風害

番号	西暦	年号	月日	被害の概要
1	1885	明治18年	07月01日	暴風雨により郡中社、池田、会染、七貴、八坂、広津等諸村に被害が多発
2	1916	大正05年	05月08日	平、木崎に竜巻が起り、神城まで被害が及び人家7棟が破損
3	1920	大正09年	09月26日	暴風により、郡立女学校校舎等に被害
4	1929	昭和04年	04月21日	大暴風により、平小学校の展望台、第三校舎、雨天体操場等に被害
5	1934	昭和09年	09月21日	大暴風により、三日町2箇所、大黒町2箇所、大町小学校体操場等に被害
6	1941	昭和16年	03月11日	烈風により三日町が大火となり、6時間にわたり燃え続け、山林に延焼。70町歩を焼失
7	1974	昭和49年	03月22日	春一番の強風のため、市内各所42箇所に被害
8	1979	昭和54年	03月30日 ～31日	春一番の突風のため、負傷者1名、神社全壊、屋根破損等全域で126件に被害
9	1998	平成10年	9月22日	台風7号により、りんごの落下等の被害

2 過去において市域に大きな被害を与えた火災

番号	西暦	年号	月日	被害の概要
1	1882	明治15年	07月12日	1 被災場所 大黒町 2 被災建物数 全焼14棟、半焼2棟 3 罹災世帯 不明
2	1889	明治22年	11月24日	1 被災場所 八日町、五日町、高見町、下 1 出火場所 仲町、東町の一部 2 被災建物数 全焼51棟 3 罹災世帯 不明
3	1941	昭和16年	03月11日	1 被災場所 三日町 2 被災建物数 全焼102棟 3 罹災世帯 不明
4	1945	昭和20年	04月17日	1 被災場所 借馬、木崎 2 被災建物数 全焼99棟 3 罹災世帯 不明
5	2005	平成17年	02月27日	1 被災場所 九日町、上仲町 2 被災建物数 全焼10棟、水損1棟 3 罹災世帯 9世帯17人

3 過去において市域に大きな被害を与えた水害

番号	西暦	年号	月日	災害名	発生河川	被害の概要
1	1959	昭和34年	08月13日	台風7号	高瀬川、鹿島川、乳川	大町、平、常盤、社の全地区 堤防決壊、根継工延長1,068m、損害額50,615千円
2			09月26日	台風15号	高瀬川、鹿島川、農具川、乳川その他16河川	市の全地域 堤防決壊、護岸決壊延長3,538m、損害額149,406千円
3	1960	昭和35年		台風	高瀬川ほか	大町高根町ほか 6箇所決壊、損害額33,637千円
4	1961	昭和36年		台風	高瀬川ほか	常盤、社地区、河川6、道路1 損害額42,611千円
5	1964	昭和39年		台風	鹿島川ほか	平源汲、鹿島ほか 損害額136,799千円
6	1969	昭和44年	08月11日	8.11集中豪雨	高瀬川、鹿島川、籠側、農具川、内山沢、中の沢ほか	市の全地域、建物流失4、破損145、堤防決壊14.35m、水田・畑冠水等48.9ha、その他道路・橋・鉄道被害
7	1982	昭和57年	8月02日	台風10号	高瀬川	昭和電工西の堤防決壊80m 損害額80,000千円
8	1995	平成07年	7月11日	7.11集中豪雨	高瀬川、鹿島川、農具川ほか市内各所	市の全地域 床上・床下浸水19件、水田・畑冠水等5ha、その他道路・橋・鉄道被害 損害額120,000千円
9	2004	平成16年	10月20日	台風23号	鹿島川、農具川ほか市内各所	鹿島川右岸一部崩落 市の全地域 床上・床下浸水45件 水田・畑冠水等 損害額745,811千円
10	2006	平成18年	7月18日	7.17集中豪雨	犀川ほか	八坂・美麻地区 土石流、地すべり、土砂崩落等多数あり。 犀川6世帯に避難勧告を発令。 住家等への被害なし。

4 地震被害年表

番号	西 暦 和 暦	震 央 東 北 経 緯	M	災害 程度	主な被害地域	備 考
* 1	1714. 04. 28 22 時 正徳 04. 03. 15	137. 85° 36. 7°	6. 3	B	信濃小谷村	姫川沿いの谷に被害。 大町組全体で死 56、傷 37、全潰 194、半潰 141。 長野の善光寺でも石垣が崩れ、石塔が転倒した。
* 2	1858. 04. 23 10 時 安政 05. 03. 10	137. 9° 36. 6°	5. 7	B	信濃大町	大町組で家、蔵等の潰れあり。 山崩れ多し。
* 3	1918. 11. 11 02 時 58 分 大正 7. 11. 11	137. 88° 36. 45°	6. 1 6. 5	C～B	長野県大町付近	大町地震 2 回の地震があった。 高瀬川沿いの地域で 居宅全潰 6、半潰 305、 破損 2, 547 件、土蔵等 全潰 16、半潰 2, 273 件、建物の破損 290 ほ か石垣破損 334 箇所等 の被害。
* 4	1986. 12. 30 09 時 38 分 昭和 61 年	137° 56. 0′ 36° 37. 9′	5. 9	C	長野県北部	信州新町を中心に住 家に一部破損 243、水 道 3 箇所、その他 27 箇所の被害
* 5	1998. 07. 01 02 時 22 分 平成 10. 07. 01	137° 55. 0′ 36° 37. 1′	4. 7	C	長野県北部	美麻村、八坂村の一部 で、住家破損 38、道路 亀裂 10 箇所、その他 12 箇所
* 6	2014. 11. 22 22 時 08 分 平成 26. 11. 22	137° 53. 4′ 36° 41. 5′	6. 7	C～B	長野県北部	長野県神城断層地震。 大町市では美麻地区 を中心に住家の半壊 6 棟、市道 14 路線 50 箇 所等の被害
* 7	2025. 4. 18 20 時 19 分 令和 7. 4. 18	137° 54. 8′ 36° 28. 1′	5. 1	C	長野県北部	社地区、八坂地区を中 心に住家破損 27 棟、 ブロック塀・石垣被害 5 件、道路等被害 6 件

注) 1 番号に*のついているものは震央が長野県内にある地震

注) 2 被害程度の基準は以下のとおり（菊地万雄編「日本の風土と災害」による。）

A：大被害

B：中被害

C：小被害

D：被害がでたことは確かであるがその程度が不明

X：被害があったという明瞭な証拠はないが、同類の他の地震との比較等から被害があったと推定される場合

ブランク：地震あるいは被害そのものの存在自体が疑わしい場合

注) 3 本表は長野県西部地震（1984.09.14）までは宇佐美龍夫「新編日本被害地震総覧」をまとめたものである。